

2024年8月11日

「キリストの思い」

コリントの信徒への手紙一 2:11-16

早川 真牧師

今朝与えられた聖書箇所は、人の内に霊があるということが示されています。聖書が語る霊とは、その人の最も深い部分であるということが出来ます。その最も深い部分である人の霊において、人は人のことを知るのだと言われていました。ここで言いたいことは、同じように神のことを知るには神の霊が必要だということです。

イエス・キリストが世に来られて、旧約聖書の言葉は新しく説明されました。それはキリストが神の御心を唯一完全に知っておられる、神から生まれたお方であるからです。そして神の霊である聖霊が世に降り、キリストを信じる者の内に住んでくださるようになりました。この聖霊に教えられて、私たちは神の言葉を理解することができるようになりました。

この、平和を特に願う8月に、私たちに必要なものはこのキリストの思いではないでしょうか。私たちは今、戦争のない日常を送っていますが、今もなお戦争の経験によって苦しむ人々やまた今争いの渦中にある方々の思いに私たちもまた連帯することを求められているのだと思います。それは遠い世界の人々との連帯とは限りません。むしろ私たちの隣にいる最も近い人の苦しみ、貧しさと連帯するということであるのだと思います。時に近くにいる人ほど平和を保つことは難しいかもしれません。しかし聖霊は、日々キリストの思いを私たちの内に示してください。それも心の最も深い所に示してください。このキリストの思いが私たちの内に豊かに宿るように、共に祈りを合わせたいと思います。